

発行: 特定非営利活動(NPO)法人ワークセンターいちい (ホームページ) http://www.ob2.aitai.ne.jp/~donnguri/ (Eメール) ichii-06@ob3.aitai.ne.jp		令和8年5月
・どんぐり工房	瑞浪市陶町水上669番地の1 〒509-6362	☎0572-62-1230 Fax0572-62-1231 (Eメール) donnguri@ob2.aitai.ne.jp
・第2どんぐり工房	瑞浪市寺河戸町1087番地の1 〒509-6121	☎0572-56-1130 Fax0572-56-1131 (Eメール) donnguri@iaa.itkeeper.ne.jp
・わごうホーム	瑞浪市薬師町2丁目34番地の1 〒509-6135	☎・Fax 0572-67-5571 (Eメール) wagou2018@ob.aitai.ne.jp
・学園台ホーム	瑞浪市学園台2丁目13番地の6 〒509-6106	☎・Fax 0572-51-2809
・上野ホーム	瑞浪市上野町3丁目45番地の2 〒509-6125	☎・Fax 0572-51-7147 (Eメール) gakuendai2809@ob.aitai.ne.jp
どんぐり工房だより 総会号		

《 人生が変わる出会い 》

約30年前、知的障がいがある人が様々な場面において、適切な支援のもと豊かで安心した暮らしができることを願って活動している全国組織の「東海北陸大会」に参加したとき、思いがけない出会いがありました。それは、6名の宿泊部屋に以前からお名前だけは存じ上げていた御方(私は先生と呼んでいます)とご一緒させていただく機会を得たことです。

すでに大きな組織の中で先駆的な事業運営を実践され、誰もが一目を置かれる存在であったと記憶しています。そのような先生とお茶を飲みながら、障害福祉の実情や制度について、また障がいのある人の生きがいにおける考え方等にご指導いただけたことに、「目からうろこ」とはこういうものなのかと衝撃を受けたことが昨日のように思われます。何もかもが新鮮であり、ひよっとしたら自分でも瑞浪における障害福祉のために何か貢献できるかもしれないと勇気をいただいた気がしました。

当時、瑞浪市における障がいのある人の保護者の団体の代表をしていましたので、少なからず地域福祉の在り方について活動を継続する意識はだれよりも強いものがあつたと自覚していました。

「お風呂にでも行きましょうか」とお誘いを受け、脱衣場で裸になった時、以外にも先生の筋肉質と日焼けされた姿に、日頃から職員や利用者と共に体を使いながら活動してみえる光景が想像でき、大きな施設の長である先生も現場で汗をかいてみえるのかと驚きを感じたものでした。

浴後、どうしても聞いてみたいことがありました。尊敬の念をもってお聞きしたつもりでしたが、「先生をそれほど追い込んでしまったものは何だったのですか」という言葉を発してしまいました。先生は少し考えられて、「これから宴会が始まると思いますので、良かったら私の横に座ってみますか」と言われました。

宴会場では、先生は上座に腰を下ろされてみえ、当然横に席を構えることはできるはずもないと思いながら、機会をみてお酌をとタイミングをうかがっていました。歓談に入ると、先生の前は入れ替わりで親御さんや福祉関係者の方で取り囲まれるようにお酒が酌み交わされ、お話が弾む様子が手を取るように伝わってきました。日頃は、施設内外で障がいのある人の支援に右往左往されながらきつご苦労が多いことに違いはないであろうと、またこれからは彼らの生きがいづくりに人生の全てをかけていかれる決意とはどのようなものであろうとその心情を是非伺いしてみたいと思っていましたがそのようなことは取るに足らないことのように思えてきました。

「施設づくりは血と汗と涙の結晶」と言われた時期がありましたが、大変な苦勞や努力を重ねた末に得た成果であるがゆえに、共に苦勞されてきた人々と互いに心が通じ合う至福の時間であることに気が付かされた瞬間でもあり、このような光景に出会えたことが先生に失礼な質問をしたお答えであったことに深く反するとともに、障がいのある子どもを持ちながら、私の40数年の生き様と言えば、ゴルフやマージャン等にストレスの発散の場を求め、いい加減な生き方をしてきた自分を恥ずかしいと感じたものです。

宴もたけなわになってきた時にお酌をするタイミングがあり、先生の前に出向くと、「私の横に座れなくて申し訳なかったね」とかえって気を使っていたきながら、限られた時間の中でとてつもない多くの教をいただけたことに、心が満たされるような気持ちを感じました。

そして先生から次の2点をお話していただいたことを忘れることができません。

一つ目は、「初心忘るべからず」という言葉です。物事を始めたころの謙虚で真剣な気持ちを忘れてはならないという意味ですが、いくつもの初心をやり通していく覚悟が必要になりますといわれました。

二つ目は、障がいのある人が幸せになるためには、「制度を超えること」とも言われました。障害福祉の在り方は多くの省令や条例等で制定されており法令遵守は最も大切な業務になります。しかし施設を必要とされる人があればその人のために出来る限りの方策を考え基準を変えていく努力をしていくことを忘れないでくださいということだったと思います。

それから15年の年月を重ね、多くの方の応援をいただく中で瑞浪のこの地に障害福祉サービス事業所が設立できたことは、先生からご指導を賜りまた勇気をもらえたあの時が今の自分の原点であり貴重な財産になっていることに間違いありません。

令和8年5月吉日

NPO 法人ワークセンターいちい
事務局長 志水 利保



どんぐり工房の活動紹介

第2 どんぐり避難訓練



11/19

第2どんぐり工房で
避難訓練を実施し
ハートピアまで歩き
ました。昼食はイオ
ンモールで食べまし
た。



歯科検診

11月の歯科検診では、皆さんしっかり検診を受けることができました。



瑞浪市障がい者週間 パン販売



12月

瑞浪市役所にて
B型・生活介護の
利用者さんがパ
ン販売のお手伝
いをしました。



令和7年度のクリスマスは陶でも第2どんぐりでも盛り上がりました！



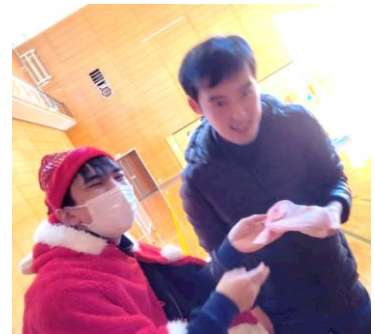
仮装をしたり、食事を楽しんだりゲームをしたりと、生活介護とB型の利用者さん一緒にみんなで楽しむことができました。特にB型の利用者さんは仕事優先でなかなか行事には参加できませんが、今回は久しぶりに息抜きできたようで良かったです♪



クリスマス



ビンゴ大会でお菓子の
プレゼントをもらったよ♪





散歩道もお店の中も桜がキレイでした！



いろんなお店があって
見て回るのが楽しいね♪

ポスター前で記念撮影！
僕たちマイケルみたい？



生活介護では3月30日、第2どんぐり工房では4月8日にお花見を行いました。
毎年どんぐり工房の駐車場や、第2どんぐり工房近くの散歩道には桜が綺麗に咲き誇ります！
生活介護では昨年同様に外でたこ焼きを作って召し上がってもらいました。第2どんぐり工房
では散歩した後にイオンモールヘドライブに行き、買い物も楽しみました。

お花見



今年もどんぐり工房の
桜が満開だね！

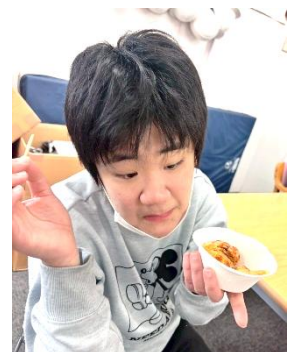


散歩が楽しい♪



みんなでハイ、チーズ！

外でたこ焼きを焼いて、みんなで仲良く食べました♪





就労継続 B 型 八田 英晶（はった ひであき）

令和 7 年 9 月に入職しました八田英晶と申します。

福祉業界に携わるのは初めてですが、利用者さんの人生に貢献できる仕事にやりがいを感じ、日々学びながら取り組んでいます。さらに経験を積み重ね、スキルを高めて一人ひとりに適した指導をしていきたいと思っています。

今後ともよろしくお願い致します。



就労継続 B 型 加知 香織（かち かおり）

令和 7 年 10 月より入職致しました加知香織と申します。

飲食店に勤めていたことはありますが、パンの製造はほぼ初めての初心者です。福祉関係の仕事に就くことも初めてなので、分からないことだらけですが皆さんに助けて頂きつつ、利用者の方達が楽しく作業ができるように努力していきたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。



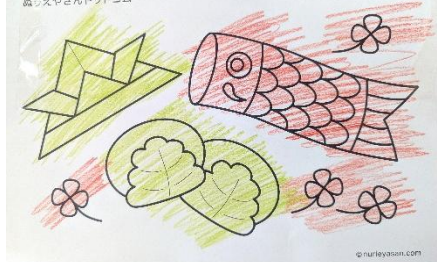
創作活動の作品

利用者さんがどんぐり工房で作った作品をご紹介します！

ぬりえやさんドットコム



ぬりえやさんドットコム



ぬりえやさんドットコム



職員紹介

生活介護・就労継続 B 型で働いている職員さんの紹介です。



生活介護 小川 恵子（おがわ けいこ）

令和 6 年 6 月より、陶どんぐり工房の支援員として働かせていただいております小川恵子と申します。

福祉関係のお仕事といってもさまざまで、覚える事が沢山ありますが、何が正解か分からないので利用者様に寄り添った支援をしていく事を忘れず、安全に楽しく穏やかに過ごせる支援を心がけていけたらと思います。そのために信頼関係を築く事が大切なので焦らずにコツコツ日々、積み重ねていけるように努めていけたらと思いますので今後とも職員の方々、ご家族様とのお話を伺い精進してまいりますので宜しくお願い致します。



就労継続 B 型 伊藤 忠明（いとう ただあき）

令和 6 年 10 月に入職しました、伊藤忠明です。共同生活援助わごうホーム夜勤と、どんぐり工房での施設外就労（ゴルフ場）のお仕事に就いています。

利用者の方々との会話はとても難しいと思いますが、少しずつ一人ひとりを理解し接しようと努力していきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願い致します。



生活介護 萩尾 英翔（はぎお えいと）

令和 7 年 5 月より入職しました萩尾と申します。まだまだ経験が浅く、至らない点も多いかと思いますが、ご利用者様一人ひとりの思いやペースを大切にしながら、安心して過ごして頂けるよう精一杯努めてまいります。

今後とも、よろしくお願い致します。

▼農福連携



令和7年度は瑞浪市の畑をお借りして野菜を育て、伴走支援者の指導の下で試作品作りに取り組み、地元の高校生に試食をしてもらい貴重な意見を頂く等、活動が続けられました。保護者の方にコロッケの感想を頂けたこと、とても参考になりました。今年度もさらに事業を拡大し、新しい業務に繋げていけるよう活動が続けてまいります。

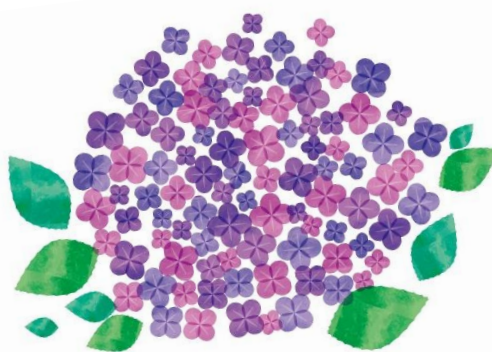


△きなあた瑞浪前の畑



△荒川先生と利用者さんの様子

▽未来創ろまい課にて高校生との交流



▼編集後記

新年度に新規利用者さんは入って来られませんでした。4月より新しいグループホーム(上野ホーム)がスタートして少し忙しい中で始まりました。私自身もサービス管理責任者としてグループホームに携わっていますが、最初は非常に不安そうにしていた利用者さんたちがゆっくりと落ち着いてきている姿を見えています。何事もチャレンジが大事だと思いますが、保護者さまの後押しがあったからこそ、利用者さんが自律に向けて一歩踏み出せたと感謝しております。

どんぐり工房生活介護も就労継続B型も、昨年の活動をもって今年はさらによりよい活動を実施していけるよう精進してまいりたいと思っています。